

1. 指定管理者名	公益財団法人多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	令和6年4月1日 ～ 令和8年3月31日
3. 業務の範囲	(1)笠原交流センターの施設及び設備の維持管理に関すること。 (2)笠原交流センターの利用許可に関すること。 (3)利用料金等の徴収に関すること。 (4)公民館事業及び児童館事業の実施に関すること。

「利用状況」における平均値比とは
当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率。
①指定管理期間1年目 → 前指定管理期間における利用率の平均値
②2年目以降 → 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率)
③新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により①、②によることが不適当であると判断される場合 → 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値

4. 採点表		評価項目		細目		配点		採点基準		実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)				分析、評価、指示等		得点	
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(0点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	—	平均値比 105%以上:5点、105%未満～95%:4点 95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	—	視聴覚室:15.0% 会議室1:23.7% 会議室2:15.3% 会議室3:23.5% 料理教室:9.7% 和室1:28.7% 和室2:14.2% 茶室1:5.6% 茶室2:2.9% 大ホール:32.6%(新設) ※児童センター該当なし	(参考)リニューアル前の利用率の推移 (%)					—	以下の理由から類似施設を参考にした比較や、過去の実績との比較が困難。 (1)本施設の場合、平均値比の扱いはい上記③によるが、値の算出に活用できる適当な類似施設がない。 (2仮に上記①②で評価する場合も、前指定管理期間(R3～R5)が特異な期間(R3:コロナによる利用者減、R4:文化会館の休館による利用者増、R5:臨時休館)であること、また大規模改修により図書館笠原分館の交流センターへの吸収、大型ホールの廃止と小規模ホールの新設等があり、改修前と設えが異なる。 以上により、利用率については評価対象としないこととする。 なお、R5の1年間の休館により、定期利用団体が他の施設に活動の場所を移した結果、R6におけるこれらの団体の戻り率は8割程度である。利用団体の回帰への取組みは難しいが、交流センターとなった施設の魅力を高めて利用率の向上を期待する。	—		
								利用率 17.1%	年度	H30	R1	R2				R3	R4
		(2)利用人数	—	平均値比 105%以上:5点、105%未満～95%:4点 95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	—	【公民館】 視聴覚室:2,292人 会議室1:6,599人 会議室2:2,152人 会議室3:2,668人 料理教室:1,011人 和室1:3,654人 和室2:2,090人 茶室1:338人 茶室2:109人 大ホール:10,536人(新設) 図書室:17,012人 【児童館】13,593人	(参考)リニューアル前の利用人数の推移 (人)					—	【公民館】 以下の理由から、類似施設を参考にした比較や過去の実績との比較が困難。 (1)本施設の場合、平均値比の扱いはい上記③によるが、値の算出に活用できる適当な類似施設がない。 (2仮に上記①②で評価する場合も、前指定管理期間(R3～R5)が特異な期間(R3:コロナによる利用者減、R4:文化会館の休館による利用者増、R5:臨時休館)であること、また大規模改修により図書館笠原分館の交流センターへの吸収、大型ホールの廃止と小規模ホールの新設等があり、改修前と設えが異なる。 なお図書室は、フロアや蔵書数が減少したにも関わらず、貸出人数はリニューアル前を維持。 【児童館】 統合前の児童館との比較において222%の利用人数。 ただし前述のとおり、公民館部分の利用人数を評価対象として扱うことが困難なため、交流センターとしての利用人数については評価対象としないこととする。	—			
							【公民館】利用人数 延べ48,461人 (貸館31,449人、図書貸出17,012人) 【児童館】利用人数 延べ13,593人(R3～R5の平均6,130人) 平均値比222%	年度	H30	R1	R2				R3	R4	
(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(20点)	15	内容・事業数等が 仕様書以上:15～12点 仕様書に忠実:11～9点 仕様書の一部不実施(軽微):8～7点 仕様書の一部不実施(中程度):6～3点 それ以下:2～0点	15	内容・事業数等が 仕様書以上:15～12点 仕様書に忠実:11～9点 仕様書の一部不実施(軽微):8～7点 仕様書の一部不実施(中程度):6～3点 それ以下:2～0点	15	年次報告書P358～393 【公民館】 ①かさはら探検隊(8回131人)、和太鼓クラブ(27回342人)、和太鼓講座(4回23人) ②地域支援/タイル感謝祭(5,000人)、モザイクマート(1,500人)ほか ③ホール事業/ご近所落語会(2回102人) ④地域交流事業/いこまい祭(1,000人)、スポレク(300人)、クリーン大作戦(22人) ⑤図書室事業/展示(7展示)、わくわく図書室(4回57人)、おはなしの会(11回121人) ⑥展示スペース事業/林雲鳳展・笠原鉢展(2展示) ⑦文化支援事業/笠原交流センター祭 【児童館】※公民館事業含む ①乳幼児と保護者を対象とした事業(49回594人) ②児童を対象とした事業(64回517人) ③地域交流・多世代間交流事業(27回612人)、④中高生事業(18回166人) ⑤子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進(28回489人)	仕様書以上:13点					13点					
							年度	H30	R1	R2	R3		R4				
(3)自主事業の企画・運営・実施(20点)	15	内容・事業数等が 期待以上:15～12点 例年通り:11～9点 例年よりやや劣る:8～7点 例年より劣る:6～3点 例年よりかなり劣る 2～0点	15	内容・事業数等が 期待以上:15～12点 例年通り:11～9点 例年よりやや劣る:8～7点 例年より劣る:6～3点 例年よりかなり劣る 2～0点	15	年次報告書P.358～393 ①生涯学習講座/日本舞踊エクササイズ(14回84人)、新NISA講座(14人)、アザレアコーラス(15回296人)、がま口ポーチづくり(12人)、伝承料理教室(25人)ほか ②地域支援/町民の集い(500人)、かさはら福祉まつり、NPOまいてほか ③ホール事業/新ふたりの世界(75人) ④地域交流事業/お正月フェスティバル(200人)、ソフトバレーボール大会(200名) ⑤図書室事業/41展示、リサイクルフェア(4回)、体育館雑誌(12回) ⑥展示スペース講演会/笠原鉢(15人)、⑦かさはらカレッジ悠遊塾(23回422人) ⑧VIVA! マナビバ! (10講座58回342人) ⑨連携事業/4館合同囲碁・将棋大会(22人)、7館合同卓球交流会(50人) 【児童館】※公民館事業含む ①乳幼児と保護者を対象とした事業(65回1,543人) ②児童を対象とした事業(64回736人) ③地域交流・多世代間交流事業(64回1,053人)、④中高生事業(11回71人) ⑤子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進(33回396人)	期待以上:13点					13点					
							年度	H30	R1	R2	R3		R4				
(1)施設管理業務の実施状況(10点)	10	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する 適正(普通):2点 一部不備あり:1点 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	10	年次報告書P394 ①日常の清掃業務のほか敷地内の草刈りなど。ワックスがけ等特別清掃の実施。	適正(普通) 2点					適正に実施されている。	10点				
		年次報告書P395 ①笠原体育館を含め、多岐にわたる保守点検項目を適正に実施。 ②設備スタッフと連携を取り、保守点検業務を確実に実施。改修工事後の不具合等はその都度市や工事業者へ報告。				適正(普通) 2点					適正に実施されている。						
		年次報告書P395 ①巡回警備、機械警備を日常的に実施。防犯カメラの増設により、監視範囲も拡大。				適正(普通) 2点					適正に実施されている。						
		年次報告書P396 ①有償修繕 15件 800,009円				適正(普通) 2点					適正に実施されている。						

2	施設管理状況 (25点)		⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			年次報告書P400 ①消防、防犯等の訓練を通じて、危険箇所や避難誘導の重要性を確認。 ②児童館の来館児童が誤って非常階段の扉を開かないよう、大人が開錠できる位置に鍵を設置。児童向けの避難経路の表示を追加。 ③遊戯室壁材の破片の剥落に対してクリア塗装による防止策を実施。 ④タイル広場のタイルの浮きに対しては、速やかな注意喚起と修繕を実施。	適正(普通) 2点	リニューアル後の施設においても、事故を想定して不具合を改善しようと努めている。 適正に実施されている。		
		(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	年次報告書P397 ①市のファイリングシステムに準じて、適切な保管・廃棄・整理を実施。 ②個人情報収集は必要最低限の内容に留めるよう留意。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	11点		
			②環境への配慮		年次報告書P397 ①図書室で除籍した絵本をクリスマス会のプレゼントとして活用。 ②地域のNPOの資源回収に協力し、資源の有効活用を図っている。 ③商工会やモザイクタイルミュージアムとともに、施設周辺の清掃活動を実施。 ④花壇等で使用する水には雨水を利用。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。			
			③バリアフリー		年次報告P397 ①和室の上がり框に手すりを設置。 ②リニューアル後、視覚障がい者の方が迷うケースが頻発したため、職員が誘導。 ③身障者駐車場や点字ブロックの表示が妨げられないよう、浮きの補修や融雪作業など優先的に実施。 ④会議室ドアの防火性が高まり開閉が重くなったため、車いす利用者をサポート。 ⑤車いす利用者がスムーズに利用できるよう図書室内の動線確保に取り組んだ。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。			
			④備品管理		年次報告書P397 ①児童館の遊具等の損傷の確認と消毒作業を徹底。 ②地下倉庫の和太鼓管理のため、業務用扇風機の常時稼働と除湿器で湿度管理。 ③使用頻度が高く経年劣化が見られるものは優先的に更新。 ④新設された大ホールの利用に関して、事前打ち合わせ、使用する機材等の事前準備、利用時の運営をサポートなどに取り組み、利用者の不安解消に努めた。	期待以上 3点	適正に実施されている。 特に地下に新設した大ホールや備品倉庫の湿度管理は想定以上の負担となっているが、日常的な取り組みで適切に維持されている。			
			⑤個人情報保護		年次報告書P397 ①不要となった電話番号は速やかにシュレッダーでの処理。 ②個人情報に関する問い合わせには、本人の了解を得てから伝えることを徹底。 ③児童館の登録カードなどの個人情報の保管は、キャビネットの施錠を徹底。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。			
			⑥事故等への対応		0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	年次報告書P398 事故なし。		事故なし・対応に不備なし 0点	事故なし
3	当該施設の経営状況 (5点)		①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入123,773,180円÷支出125,132,711円＝98% (笠原体育館含む)	100%未満 3点	【参考】 ①施設単独の指定管理料 69,624千円 ②施設単独の主な収支 (1)収入／利用料金収入1,983千円、文化事業収入1,569千円、雑収入1,541千円 (2)支出／運営管理費32,784千円、文化振興事業費2,548千円	3点	
4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点 適正(普通):7～5点 不備あり:4～1点	年次報告書P399 【大ホール】 ①PCからの音の出力やBluetoothに対応した音響卓の改善。 ②椅子をラックに積み上げ過ぎないように、ラックを追加購入。椅子の積み下ろし時の危険や負担を改善。 ③既存の照明に加え、スポットライトを2台購入。演者への照明の当たり方を改善。 ④舞台上にスピーカーの音が聞こえない課題について、独自に対処し設備を改善。 ⑤舞台用の吊り看板を整備。 【その他】 ⑥和室の上がり框に手すりを設置。(再掲) ⑦駐車場が満車になった際は、速やかに臨時駐車場へ誘導。	期待以上 9点	①新設した大ホールについては、実際に利用者に利用していただいて初めて不具合や改善点が表面化する。オープンから1年間で様々な課題が顕在化し、それに対して1つずつ丁寧に対処してきたことがうかがわれる。今後様々な使われ方でさらに利用が増えることが想定されるため、より魅力ある施設の維持、改善に努められたい。	9点	
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは5点とする	苦情なし。	苦情なし・期待以上 5点	苦情なし	5点	
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)		15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15～12点 適正(普通):11～9点 普通未満～物足りない:8～0点	年次報告書P400～405 ①児童館から非常階段へ出る扉に鍵を設置。児童が自由に扱えないようにする一方、非常時に大人が容易に開けられるよう改善。 ②2階での有事の際に1階事務所に通報する防犯ベルを設置。非常看板を児童が見やすい位置に設置。 ③事業の際に小中学生ボランティアと地域の方をつなぐため、学校と相談し、中学生の呼びかけで参加しやすい仕組みづくり。 ④小6と中3を対象に、NPOまいとと連携し命の授業を実施。 ⑤児童館新設に伴い、図書室に絵本コーナーを充実。児童館帰りの利用者の獲得につなげた。テーマを決めた展示により、利用者に新しいジャンルへの興味を喚起。 ⑥旧児童館の事業を引き継ぎ、児童館のスムーズなスタートに努めた。 ⑦国際陶磁器フェスティバルに伴うに警備等への対応や広場の洗浄を実施。 ⑧アザレアホール廃止に伴い文化会館が継承した「誰でも参加できる音楽劇」をサポート。児童館の来館児童に見学の機会を設けた。 ⑨定期利用団体に対して、広報紙掲載やチラシ作成代行等を支援。	期待以上 13点	①児童館の新設により、子どもが安心安全に過ごすことができる環境づくりが優先事項に加わった。広い館内で死角を作らない、不審者への対応、緊急時の避難誘導など施設職員の機転や配慮が新たに求められ、それに応えるための日頃の努力がうかがえる。 ②小中学校との信頼関係を活かし、いこまい祭等の実行委員会や市民会議、PTA等ボランティアを必要とする団体を取りまとめ、一括で学校へ要請するなど円滑な連携に努めている。 ③NPOまいと共催で笠原小・中の児童生徒と保護者に対して実施した「いのちの授業」は、性教育のジャンルを地域と学校とも一体となって開催しており、児童館を併設した交流センターとして今後の運営の糧となる取組みと評価。 ④改修工事によって図書館から図書室に規模を縮小したが、同等のサービスを維持し、読書推進への活動を活発に行っており、以前の利用者が戻るだけでなく、新規の利用にもつなげている。	13点	
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況		0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	不備なし	遅れ・不備なし 減点なし	不備なし	0点	
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等		0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	指示等なし	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	指示等なし	0点	
合計				90	【4段階評価】 100点満点 → 90点満点 極めて良好 100～85点 90～76点 良好 84～65点 75～58点 努力が必要 64～45点 57～40点 取消し等を検討 44点以下 39点以下				全体的な評価 ①他の交流センターとは建物の規模や構造が大きく異なるため、児童館運営には独自の安全配慮が求められたが、無事に1年が経過したことは、職員の高い危機管理意識によるものと評価する。 ②大ホール等新たな機能を積極的に活用し、都度ニーズに応えた改善にも取り組んでいる。さらなる活用が図られることを期待する。	合計77点 極めて良好